



元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく

令和5年7月号

小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

小中一貫教育 ～ 併設型小・中学校 ～

校長 中川 浩二

6月6日(火)、小田中学校の運動会を参観しました。中学生の迫力ある動き、真剣に取り組む姿に感動しました。また小田小卒業生のたくましく成長している様子をたくさん見ることができ、うれしく思いました。

さて、今回の学校だよりでは、小田小と小田中の両校が行っている小中一貫教育について書いていきます。その一貫教育の主な特長は、次の3点あります。

【1点目】義務教育9年間（小1～中3）を意識した子どもたちの育成

小学校と中学校で途切れることなく連続した共通の目標と同じ方向性をもって、教育活動を進めています。また、小中合同の学校運営協議会（下記参照）やKCSをはじめ、小中共通の地域の方々のお力添え・見守りが、一貫教育の推進に大きくつながっています。

【2点目】中学校が隣接する利点を活かした児童・生徒や教職員の交流

学校保健委員会、個別支援学級読み聞かせ(たんぽぽふーのお話会)、子ども会議などを通して、児童・生徒の交流をしています。今年度は、小田中の体育科と英語科の教諭が、小田小に毎週来て、授業のサポートをしています。5月24日の4年生ごみ焼却工場の社会科見学には、小田中の社会科教諭が引率し、児童に専門的なアドバイスをしました(右下の写真)。また、小田小の栄養教諭が小田中2年生の家庭科授業の中で、調理実習サポートや食育講話をしています。教職員は、定期的な会議のほか、このように日頃より連携を図っています。隣どうしの学校だからこそ、何かあれば、すぐに行き来し支え合えることが大きな利点です。

【3点目】併設型小・中学校による先進的な小中一貫教育の充実※

小田小と小田中の両校は、横浜市教育委員会より令和2年度から「併設型小・中学校」というブロックに指定されています。現在、横浜市内での同ブロックは、小田小中を含めて7つあります。「併設型小・中学校」とは、教育課程(学校全体の教育計画)の特例を活用できる先進的な小中一貫教育を行う小中学校です。その特例のひとつに、小中一貫の教科(独自教科)を創設することができます。現在「未来づくり科」という名称で、小中一貫の教科の創設に向けた準備を小田中と進めているところです。

小田小の子どもたちが隣の小田中をより身近に感じ、希望を膨らませ安心して進学できるよう、そして小中一貫教育を通して中学校を見据えた力を身に付けていけるよう努めていきたいと考えています。

※「第4期 横浜市教育振興計画(2022-2025)」
インターネットで検索して、ご覧になれます。

4年生社会科見学に小田中の社会科教諭が引率

写 真

【小田小学校・小田中学校 学校運営協議会】

本協議会は、地域住民・学校協力者・保護者・学識経験者の代表の方など17名で構成され、教育活動についてご意見をいただき、今後の学校運営に生かしていくために設置されています。5年前より小田小・小田中合同で実施しています。授業や行事(運動会など)の参観を含み、1年間で7回行う予定です。右写真は、本年度第1回目の会の様子です(5月12日実施)。

写 真